

## 子育てに関する未来

子ども・若者

### 子ども、若者の居場所に関する未来

10代、20代が対象の施設が誕生

10代のたまり場ができる

中心市街地に若者がいっぱい歩いている

若者の活動を後押ししてくれる場所がある

若者が集える場所や機会が多い

世代間で気軽に交流できる居場所がある

大人の目を気にせず、思い切り遊べる場所がある

知らない人も気軽に交流できる場所がある

子どもと大人が一緒に楽しめる場所がたくさんある

夏も冬も使える総合型施設が誕生

学びたいことが学べる場所がある

障害のある子どももいろいろなことに参加することができる

子どもがいろいろな職業体験が行える

子どものやりたいが叶えられるまち

子どもがいろいろな体験ができる

将来に不安がなく子育てができる

親の送迎資金に対する不安がない

若者のやりたいことを制限しないまち

出生率が全国1位

部活動をしている学生の割合が全国1位

部活動に対する移動手段が充実している

街中に教育施設や子育て施設がある

長野の子どもは健康日本一

### 子ども、若者の長野市に対する気持ちに関する未来

若者が戻ってきたいと思うまち

長野市の魅力を言える子どもがたくさんいる

全国から若者が集まるまち

子どもたちに農業体験が充実したまち

### 若者の貧困・支援に関する未来

こども食堂がたくさんある

こども服などがリサイクルされる環境が整っている

子どもの自治会が設立

子どもが夢を持てるまち

子どもの意見が反映されているまち

子どもの声を聴ける大人が増えていく

歩道が広くて、歩行者や自転車にゆとりがある

アニメなど、新たな文化が創造されて「楽しいまち」

市民参加が教育活動として定着している

ニーズをしっかりと把握できるまち

ITリテラシー教育が充実している

自殺する人が減る

### その他に関する未来

### SNSやいじめに関する未来

# 子ども・若者分野で特に重要視された未来

世代間で気軽に交流できる居場所がある

子どもと大人が一緒に楽しめる場所がたくさんある

大人の目を気にせず、思い切り遊べる場所がある

10代のたまり場ができる

若者が集える場所や機会が多い

子どもの意見が反映されているまち

子どもの声を聴ける大人が増えて

いる

こどもの自治会が設立

子どもがいろいろな体験ができる

子どもが夢を持てるまち

子どものやりたいが叶えられるまち

部活動をしている学生の割合が全国1位

将来に不安がなく子育てができる

- ・中学生・高校生の居場所があると、リアルでもっと集まる
- ・子どもの声を聴けるようになることで、大人同士で会議をするような場に子どもが来れるようになる
- ・子どもの柔軟性のある意見、突発的な意見も大事
- ・体験、活躍することで育ち、子どもが主役のまちになる。
- ・個人個人が自分のままで大丈夫と思うことができれば、SNSに依存しなくなる

子ども、若者が主役



## 学校教育 に関する意見

- 子どもの教育費が無料
- 学校間の交流が盛んなまち
- 中学、高校では英語による授業が行われている
- プログラミングなどのデジタル教育が進んでいる
- 長野市多くの外国人留学生がくるまち
- 若い人の多くが外国へ留学するまち
- 学校を楽しいと思える生徒が増えている
- 少人数クラスの学習が行われている

## 社会教育 に関する意見

- リスキリングリカレントの講座が多数開かれている
- 大人に対する教育が充実したまち
- 認知症や障害に対し理解のあるまち
- 世代間で気軽に自由に学べる場所がある
- 公民館活動に学校教育がある
- いつでも、どこでも学べる環境が整っている

- 様々な職歴の教員がいる
- 教職員の指導レベルが向上している
- 教育学部にとらわれず教師になるまち
- 教職員が5時に帰宅できる
- 教職員が本音で話し合える場所ができている

## 教職員に関する意見

## 部活の地域展開 に関する意見

- 大人が関わらなくても子どもたちで展開できる
- やりたい部活動が市内にある
- 部活動の加入率が全国1位
- 部活動に移動がなく、学校でできる
- 学業と部活動が両立しやすいまち
- 部活動も無償化し、誰にでもチャンスがあるまち
- 参加者が部活動を作り上げている

## 高等教育（大学） に関する意見

- ニーズに合った新しい分野の教育機関ができる
- 経済格差により学べない人がいないまち
- 生活費に困らず大学生生活が送れる

## 不登校、いじめ に関する意見

- 発達特性に理解があるまち
- 障害があっても一緒に学べるまち
- やりたいことがどこでもできる教育環境が整っている
- 学校が楽しいと言う生徒が多い

## その他 に関する未来

- 著名人が排出されるまち
- スポーツを中心とした教育が行われている
- SNS犯罪に子どもが関わらないまち
- スマホについて地域全体で考えるまち

# ● 教育分野で特に重要視された未来

学校を樂しいと思える生徒が増えている

少人数クラスの学習が行われている

参加者が部活動を作り上げている

世代間で気軽に自由に学べる場所がある

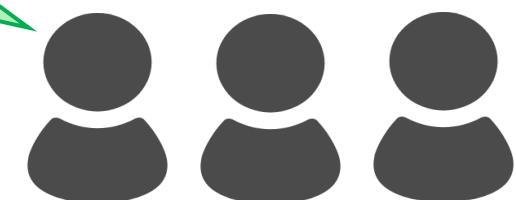
いつでも、どこでも学べる環境が整ったまち

公民館活動に学校教育がある

生活費に困らず大学生活が送れる

- ・子どもにとってやらされる学びではなく、自由な教育。
- ・お金に困らず大学生活を送ることで、自分の学びたいことをみつけられる。
- ・スポーツを中心とした学びができると良い。
- ・10代の学生の中に職歴がある人が入ってくると周囲にとっても学びが違う。
- ・子どものやりたいベクトルに合わせた社会教育。
- ・公民館活動を行う人がそろうと、子どもたちの居場所づくりが出てくる。

多様な世代が  
自由に学べる環境



### 人手不足や福祉情報に関する意見

- AI等を活用したロボット機器により負担が少ない
- 施設職員が適切に配置されている
- 福祉分野の仕事の魅力が広がっている
- ペットOKの公園が増えている

### 高齢者、介護に関する意見

- おじいちゃんおばあちゃんになるのが楽しみなまち
- 施設への入居に困らないまち
- 高齢者も働けるまち
- 親の介護に対する不安が少ないまち
- 介護にかかる費用の心配がない
- 介護施設でなくとも生活が送れる
- 歳をとっても楽しいまち
- 健康寿命がさらに延びる

### 障害者、バリアフリーに関する意見

- オールバリアフリーなまち
- 障害者にも暮らしやすいまち
- 自分自身も障害者になるかもしれない意識が浸透したまち
- 障害理解や多様性が魅力のまち
- インクルーシブ教育が進む
- だれでも生活しやすいまち

- 性別でいろいろなことを諦めることがない
- 性教育が充実したまち

- 女性の活躍が当たり前のまち
- 議員の男女比が半々なまち

### ジェンダーに関する意見

### その他に関する未来

- みんなに優しいまち
- 福祉分野でAIやデジタルが活用されている
- 自動運転バスなど、移動手段のICT化が進んだまち
- 運転免許を返納しても困らないまち
- 買い物に困らない交通手段があるまち
- シングルマザーが困らないまち
- 自転車に乗りやすいまち
- 公共交通機関が乗り放題
- 高齢者・障害者でも移動に困らないまち

### 地域内の関係に関する意見

- 世代間で交流できるまち
- 広い世代が活躍できるまち
- 地域内でコミュニケーションが充実している
- 高齢者が孤立しないコミュニティが形成されている

# 福祉分野で特に重要視された未来

歳をとって  
も楽しいま  
ち

健康寿命が  
さらに延び  
る

みんなに優  
しいまち

広い世代が  
活躍できる  
まち

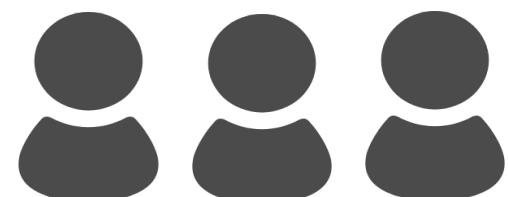
世代間で交  
流できるま  
ち

インクルーシ  
ブ教育が進  
む

障害理解や  
多様性が魅  
力のまち

- ・個々の違いに対する教育や理解が進めばいろんなことが解決する。
- ・お年寄りと子供が一緒に活動することで、世代間の理解が深まる。
- ・子どもたちがいろんな世界を体験することで知る機会がある。
- ・AIや技術が進歩すれば高齢者や、障害者がもっと活躍できる

多様な主体が活躍



## 健康に関する意見

### 医療スタッフの不足に関する意見

医療スタッフ間に男女差がないまち

医療スタッフが長野市で住むことを希望している

世代間で一緒に学べる機会がある

- 自殺者が少ないまち
- 医療費の心配なく受診できる
- 個人の医療データを基に健康管理が進んでいる
- 心の健康について相談できる場所がある
- 心の健康に対する教育環境が充実している
- 敷居が低く、相談できる場所がある
- 食事で健康管理できるまち
- 100歳まで元気に歩けるまち
- 健康寿命が延びる

### その他に関する意見

## 市内の医療機関に関する意見

医療機関に行きやすい公共交通機関が整備されている

中山間地域の医療体制が充実している

遠隔でも、都市部の医療機関を受診できる

オンライン診療が一般的になっている

精神科病院、救急が整っているまち

適切な薬が安定的に供給されている

病院で待ち時間なく受信できる

医療機関が、入院に困ることがない  
大規模病院では、高度な医療が確保されている

病院のお世話になる前に養生する

運動施設が増えている

無痛分娩が普及したまち

学校に行かずとも健康について学べる場がある

認知症に対する理解が進んだまち

安心してお出かけできる地域の場所がある

# ● 健康・医療分野で特に重要視された未来

健康寿命が  
延びる

病院のお世  
話になる前  
に養生する

心の健康に  
対する教育  
環境が充実  
している

心の健康に  
ついて相談  
できる場所  
がある

100歳まで  
元気に歩け  
るまち

食事で健康  
管理できる  
まち

運動施設が  
増えている

- ・「心と身体はつながっている」ので、両方の取り組みが大切。
- ・自分で歩けるようにすることは大切。
- ・「心の健康」を保つことで、自殺率の低下も期待できる。
- ・給食を通じた食育が行われることで、食生活による健康づくりができる

心も身体も健康

